



連石 武則 議員  
水曜会

### 合併特例債の活用は

**問** 東日本大震災を受け、合併特例債の発行期限が延長される見込みである。公立小中学校の耐震化に積極的に活用してはどうか。

**答** 本市全体の一体的な発展のため、合併設計計画の着実な推進に取り組んでおり、合併設計計画に掲げる小中学校の改修事業では必要に応じ、屋内運動場等の改修に耐震補強を加え、実施してきた。合併特例債の活用は、動向を注視しながら、対応を検討している。

### 沼隈半島周辺幹線道路について

**問** 沼隈半島周辺幹線道路の整備状況は。

**答** 福山沼隈線は、洗谷三差路の交差点改良を県に要望している。鞆松永線は、鞆の再生・活性化の観点から議論されてきた経過を踏まえ整備されるよう求めている。



木村 秀樹 議員  
水曜会

### 通学路の安心・安全について

**問** 通学路の安全確保に向けた考えは。

**答** 国から示された通学路における緊急合同点検等実施要領に基づき、警察や道路管理者等と連携し、緊急合同点検を実施し、対策の必要な箇所は、課題の解決に向けて取り組む。

### 福山北産業団地について

**問** 第2期工事のこれまでの経過と今後の予定は。

**答** 現在までに基本設計、測量地質調査等を行い、本年4月には事業予定区域を都市計画区域に編入した。今後、継続的な企業訪問等、積極的な情報収集に努める。



福山北産業団地  
(17年2月頃)



黒瀬 隆志 議員  
公明党

### 空き家対策について

**問** 総務省の住宅・土地統計調査によると、本市の空き家は2008年の調査実態では2万8000戸で、空き家率は14%とのことである。①老朽家屋、このうち損傷の激しい管理不全倒壊や資材落下の危険が高いなどについて把握しているか。②空き家について相談が寄せられたものへの取り組み状況は。

**答** ①調査は空き家の数を調査したもので、本市もこれらの実態は把握していない。②情報が寄せられたもので放置された空き家のうち、倒壊の危険性や屋根瓦の落下など、安全上問題となるものは所有者等を調査し、適正管理を指導している。それらの対策については、建築基準法上の問題だけでなく、地域における防犯や環境衛生などの課題もあり、関係部署が連携する中で、引き続き効果的な対策について研究する。

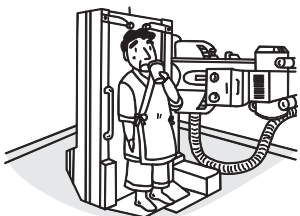


生田 政代 議員  
公明党

### 胃がん検診について

**問** 胃がんの原因の一つとして30年前に胃の粘膜から発見されたピロリ菌がある。胃がん患者の95%がピロリ菌に感染しており、除菌によりがんの発生を3分の1以下に抑えられる。胃がんの97%は50歳以降に発生し若い世代は、ピロリ菌検査を行い、感染している場合は除菌すればほとんどの胃がんを防げる。胃がん検診にピロリ菌検査を導入する考えは。

**答** 検査項目にピロリ菌検査を導入することについては、現在の国の「がん検診のあり方に関する検討会」でその有効性を検証することとされており、今後の動向を注視していきたい。



注視して  
いきたい。